

神保原駅北まちづくり ワークショップとローカル会議について

1. ワークショップとローカル会議のねらい

駅前広場及び神保原停車場線等の整備に向け、ルートやウォカブル空間のデザイン等について検討していきます。

まちなか再生ワークショップ

駅前広場や沿道のウォカブル空間のデザイン、活用方法、幅員構成の案等を検討しローカル会議との連携により賑わいの創出を検討する。

ローカル会議

道路のルートやウォカブル空間での地元としての協力体制について検討する。

駅前広場や道路、ウォカブル空間の設計に反映

2. ワークショップ開催内容

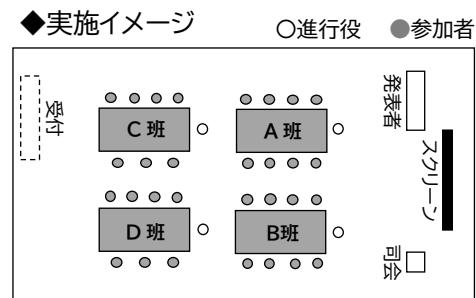
- (1)開催日 令和6年2月4日(日)／2月17日(土)／第3回は今後調整
- (2)時 間 午前10時～正午
- (3)会 場 福祉町民センター2F 研修室
- (4)内 容

	テーマ	内容
第1回	みちの使い方を考える	・道路の線形図を用いて、みちの使い方を考えます。 ・拡幅パターンと残地形状比較と使い方の意見交換をします。
第2回	まち全体の使い方を考える	まち(神保原駅北エリア)を歩いて「使いたい」と思った場所や住宅などを提示し合い、意見交換をします。
第3回	ウォカブル空間配置計画図(案)を考える	ローカル会議の議論の内容を統合してまち全体の将来の使い方のイメージ図を作成します。

3. ワークショップ実施方法

- ・1テーブル 8名程度(4テーブル)
- ・テーブルごとに1名ファシリテーターを配置する
- ・各テーブルに大判図面(ウォカブル空間配置図/道路線形図等)と筆記用具等を用意し、図面を囲って議論を行う
- ・終わりに各テーブルの意見を取りまとめファシリテーターが発表する

◆実施イメージ



4. 構成メンバー

❖ワークショップ 合計 30名

- ・町民WS参加者(R4開催) 3名
- ・上里町商工会 2名
- ・駅北マーケット出店者等 5名
- ・町内事業者 3名
- ・まちづくり協議会 8名(公募者 5名、まちなか再生実践者 2名、こだま青年会議所 1名)
- ・区長会副会長 4名
- ・公募者 5名

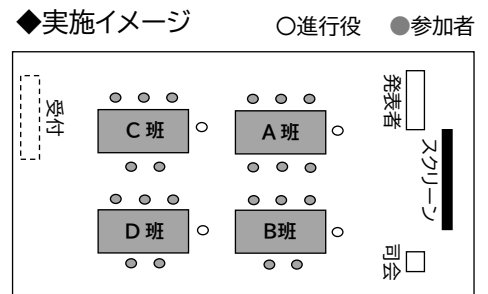
5. ローカル会議開催内容

- (1)開催日 令和6年2月27日(火)／3月26日(火)／第3回は今後調整
- (2)時 間 午後 6 時～8 時
- (3)会 場 福祉町民センター2F 研修室
- (4)内 容

	テーマ	内容
第 1 回	みちの使い方を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーカブルの考え方と道路線形 3 案について提示します。 ・WS の成果を共有し駅北エリアの課題を整理します。
第 2 回	まち全体の使い方を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回の成果をもとにブラッシュアップして提示します。 ・「滞在快適性等向上区域(まちなかウォーカブル区域)」の範囲の案を提示します。
第 3 回	ウォーカブル空間配置計画図(案)により道路線形を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップでの議論を踏まえて、まち全体の将来の使い方のイメージ(ウォーカブル空間配置計画図(案))を提示します。 ・残地を含んだ拡幅後の沿道のイメージ図を提示します。 ・「滞在快適性等向上区域(まちなかウォーカブル区域)」の更新案を提示し、道路線形を選択します。

6. ローカル会議実施方法

- ・1テーブル 5 名程度(4 テーブル)
- ・テーブルごとに 1 名ファシリテーターを配置する
- ・各テーブルに大判図面(ウォーカブル空間配置図/道路線形図等)と筆記用具等を用意し、図面を囲って議論を行う
- ・終わりに各テーブルの意見を取りまとめファシリテーターが発表する



7. 構成メンバー

- ◆ローカル会議 合計 21 名
- ・元まちづくり協議会委員(地元地権者) 3名 ・神保原総括区長 1名
- ・まちづくり計画内区長(東町・二～五丁目正区長) 5名 ・駅前通り沿道地権者 12名

8. 今後のスケジュール

	R5.11	12	1	2	3	4	5	6
まちづくり協議会	●		●				●	●
まちなか再生ワークショップ			●	●			●	
Local会議				●	●		●	●
議会					●			●
まちづくりシンポジウム		●						